

平成 27 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 27 年 1 月 1 日

至 平成 27 年 12 月 31 日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑の事業	1
1 馬の博物館の事業	1
(1) 特別展示等	1
(2) テーマ展	2
(3) 常設展示	2
(4) 馬事博物資料等の調査・研究	2
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	3
(6) 馬事博物資料の収集	3
(7) 資料の貸出	3
(8) 資料の管理・保管	3
(9) ワークショップ等普及イベント	3
(10) 馬に関する講演会等	4
(11) 他館との交流	5
2 馬展示事業	5
(1) 馬の展示	5
(2) ふれあいイベント	5
(3) 春秋特別イベント	6
(4) 厩舎管理等	7
3 馬文化の保存	7
(1) 馬事伝統行事保存事業	7
(2) 在来馬種保存事業	8
4 施設の管理運営及び公苑の整備	8
5 入館者・入苑者	8
II JRA 競馬博物館の事業	9
1 展示及び調査・研究	9
(1) ギャラリー	9
(2) テーマコーナー	9
(3) 特別展示室	10
(4) エントランスホール	10
(5) 移動展示	10
(6) 常設展示機器等	10
(7) 「映像ホール」及び新設「馬の学び舎ミュージアム・ホール」	11
(8) その他展示	12
(9) 競馬博物資料等の調査・研究	12

(10) 競馬博物資料の収集	12
(11) 資料の貸出	13
(12) 資料の管理・保存	13
(13) ワークショップ等普及イベント	13
2 案内業務及び入館者	14
III 競馬振興会館（Gate J.）の事業	15
1 Gate J. 新橋の事業	15
2 Gate J. 梅田の事業	15
3 入館者	16
4 パブリックビューイングの開催	16
IV 広報活動	16
1 馬の博物館	16
2 JRA 競馬博物館	17
3 Gate J. 新橋・梅田	17
V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	18
VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況	18
1 受入れ状況	18
2 使用状況	18
VII 庶務	18
1 評議員に関する事項	18
2 役員等に関する事項	18
(1) 役員	18
(2) 参与	19
(3) 職員及び組織図	19
3 評議員会及び理事会	19
(1) 評議員会	19
(2) 理事会	20
別添資料Ⅰ 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」リニューアルオープンイベント一覧	21
別添資料Ⅱ 寄附金・募金の受入れ状況	23

平成 27 年度 事 業 報 告

平成 27 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑 馬の博物館をはじめとする各施設において様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑の事業

1 馬の博物館の事業

(1) 特別展示等

春季は特別展『歴史コミックと馬』を開催しました。マンガはクールジャパンという標語のもと世界にその魅力が発信され、老若男女から親しまれています。今回はマンガの中でも、様々な場面で馬が登場する歴史コミックと呼ばれるものを取り上げました。

本展では、歴史コミックの第一人者ともいえる横山光輝の『水滸伝』、『三国志』、『徳川家康』をはじめとして、大御所の竹宮恵子『吾妻鏡』、さいとうたかを『太平記』、かわぐちかいじ『ジパング 深蒼海流』のほか、新進気鋭のたかぎ七彦『アンゴルモア 元寇合戦記』といった作品を一堂に会し、原画や複製原画を中心に展示することにより、幅広い層の入館者に親しんでいただけるよう努めました。会期中の入館者は、6,699 名でした。

秋季は、企画展『山本容子展一旅する馬たち』を開催しました。山本容子氏は銅版画家としてご活躍のほか、吉本ばなな氏の著作を始めとする書籍の装丁や挿画、食器・舞台衣装のデザインなど幅広いジャンルの作品を制作されています。近年では、スウェーデンを中心に普及しつつある病院のアートを国内で実践し、病院の壁画や天井画制作を担当されています。

山本氏の版画には、馬にかかわる作品が多数あることから、ご本人の推薦により馬が描かれている 61 点を選び、「古典」「旅行」「文学」「音楽」「人物」という 5 つのカテゴリーに分け、時間と空間を超えて様々な馬を見る旅という設定で展示しました。作品は版画中心ですが、病院アートにかかわる作品は版画とともに原画も掲示しました。また、制作用の文具やプレス機のほか銅製の原版も設置して、版画作成のプロセスをご覧いただけるようにしました。

なお、展覧会初日には、山本氏自ら入館者を案内して作品を説明するギャラリートーク「アートツアー」を 50 名限定で企画し、制作の契機やエピソードなどをお話ししていただきました。現在活躍中のアーティストの企画展は、馬の博物館では初めてでした。会期中の入館者は、7,723 名でした。

展示期間	展示タイトル	展示場所
4. 25～6. 7	特別展 歴史コミックと馬	第 2 展示室
10. 10～12. 6	企画展 山本容子展一旅する馬たち	第 2 展示室

(2) テーマ展

『祈りの馬』は、信仰の中に現われる様々な馬を紹介しました。馬にかかわる最も有名な神仏である馬頭観音菩薩像については、室町時代から江戸時代後期までの絵画を中心に、アジア各地の観音像も展示しました。この他、豊受大神、八幡大菩薩、馬鳴菩薩、早馳明神といった馬に乗る神仏の絵画なども展示しました。

『馬からできるもの』では、馬の毛を利用した刷毛・ブラシや調理器具、皮革を利用したバッグや硬式野球のボール、油脂を加工した化粧品や石鹸、食用の馬肉など、馬体を材料とする製品を展示したほか、その制作工程を取材し、パネルなどで掲出しました。

『馬関連ゆるキャラ&マスコット紹介展』は、西日本編と関東編を各々実施しました。中央・地方の競馬場をはじめ、全国の自治体や企業が馬を題材にして制作したゆるキャラ類について、写真・イラストのほか、ぬいぐるみなどの商品を多数紹介し、注目を浴びました。

『UMARTs2015』は、平成25年に続き馬を題材にした絵画・版画・陶器・染織・木工など美術作品の制作を武蔵野美術大学に依頼し、展示しました。今回の作者は、武蔵野美術大学を卒業したアーティストが中心でしたが、現役生のチームによる広報活動、ワークショップなども実施されました。

[第2展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 12. 13～2. 22	馬具のふしぎ
2	2. 28～4. 19	祈りの馬
3	6. 13～8. 2	馬の顔
4	8. 6～10. 4	ひく馬はこぶ馬
5	12. 12～H28. 1. 31	牧と調教

[第3展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 12. 13～2. 22	ピカソと「真夜中の馬」
2	2. 28～4. 19	馬からできるもの
3	4. 25～6. 7	“馬関連”ゆるキャラ&マスコット紹介展（西日本編）
4	6. 13～8. 2	パトリック・ブランシェ Horses and traditions in Asia
5	8. 6～10. 29	“馬関連”ゆるキャラ&マスコット紹介展（関東編）
6	11. 1～12. 5	UMARTs2015
7	12. 12～H28. 1. 31	馬の伝統行事 西日本編

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第1展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第2展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第4展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

平成 28 年度開催予定の特別展『信長の馬・秀吉の馬（仮称）』開催準備のため、鈴鹿市考古博物館・奈良市埋蔵文化財調査センターや名古屋大学において調査を行いました。

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	歴史コミックと馬

(6) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名
1	厩図 1幅
2	徳川家康定書 1点

② 寄贈を受けた資料

	資料名
1	競馬関連書籍 339冊
2	ロンシャン競馬場レーシングプログラム等 73点
3	金子誠三著『新聞記事で綴る日本一の白川馬市』 1冊
4	ちがや馬 1対

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	駅鈴複製	川越市立博物館	3.11～5.20
2	騎馬武者模型	埼玉県立歴史と民俗の博物館	6.25～9.16
3	保元合戦図屏風 他 19点	高浜市やきものの里かわら美術館	7.3～9.11
4	賀茂競馬図屏風 他 2点	サントリー美術館	9.17～12.17
5	馬装飾リュトン複製	国立科学博物館	10.16～ H28.3.18

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました。（12月13日～14日）

(9) ワークショップ等普及イベント

- ① 「サクラウィーク」イベント（3月21日～4月5日）
春休み期間中にファミリー向けの企画として以下の催しを行いました。
 - ワークショップ「馬のレザークラフトをつくろう」
（3月21日、4月4日）

- 親子で参加しよう馬の博物館ガイドツアー
(3月22日、29日、4月5日)
- ② 「夏休み」イベント (7月18日～8月31日)
夏休み期間中のお子様向け企画として以下の催しを行いました。
 - 馬に関する講座「うま博士になろう！」
(8月2日、16日)
 - お絵かき教室「ポニーセンターの馬をえがこう」
(7月26日、8月23日)
 - 「馬や市営バスのペーパークラフト&モールで馬をつくってみよう」
平成27年度より新たに実施した、市電保存館(横浜市交通局)との
コラボイベント。(7月25日、8月1日、8日、15日、22日)
 - 公苑や展示に関する問題を出題した「夏休みクイズラリー」
(7月18日～8月30日)
 - 市電保存館×馬の博物館企画「スタンプラリー」
平成27年度より新たに実施した、市電保存館(横浜市交通局)との
コラボイベント。(7月18日～8月31日)
- ③ 「シルバーウィーク」イベント (9月19日～9月23日)
平成27年度より秋の大型連休である同ウィークに新たにイベントを
実施。
 - 大人向け馬に関する講座「馬博士になろう！」
(9月21日)
 - ターフィー足ジャンケン大会
(9月23日)
- ④ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」
横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ2015」の一環として、博
物館イベントホールにて、横浜市民広間演奏会の皆様にコンサートを披
露していただきました。ご家族連れの皆様に喜んでいただける楽曲を中
心に、楽しく盛況に行われました。(12月6日)
- (10) 馬に関する講演会等
 - ① 講演
京阪電気鉄道株式会社、高浜市やきものの里かわら美術館等の依頼に
より馬事文化を普及・啓発する講義を依頼先にて実施しました。
装蹄師認定講習会のカリキュラムとして馬の博物館見学が実施された
際に、馬文化や競馬の歴史・博物資料等についての講義を実施しました。
また、畜産学・獣医学・文化財学等の専攻科目を有する大学(東京農
業大学・日本獣医生命科学大学・京都造形芸術大学)の校外学習の受け
入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めまし
た。
 - ② 学芸員課程学生の博物館実習
青山学院大学・鶴見大学・東京農業大学より4名の実習生を受け入れ

ました。(7月24日～8月6日)

(11) 他館との交流

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行いました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として、実馬展示を実施しました。多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を整えました。なお、高齢によりシンザンパーク号(20歳)が退厩、老衰によりマロン号(22歳)が死亡しました。

繋養馬一覧表

	馬名	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	品種	入退厩日
1	マーカス	尾花栗毛	1992年5月	23	セン	標茶町	141cm	ハフリンガー	1994.10.23 購買
2	ペルニー	茶斑	1998年 (推定)	18	セン	不詳	102cm	中半血	2008.4.25 函館競馬場より 受贈
3	グッバイ レディー	芦毛	1993年4月	22	牝	標茶町	161cm	ウエストファーレン	2011.9.8 馬事公苑より 受贈
4	ミカン	栗毛	2010年5月	5	セン	今治市	100cm	野間馬	2013.2.15 野間馬保存会 より借受
5	ゆき	河原毛	2011年4月	4	牝	函館市	127cm	北海道和種	2013.11.17 購買
6	ホワイトミニ	駁栗	1998年4月	17	セン	音更町	85cm	ミニチュアホース	2013.12.11 競馬学校より 受贈
7	マイネルキッツ	栗毛	2003年3月	12	セン	新冠町	164cm	サラブレッド	2013.12.11 サラブレッドク ラブラ・フィアン より受贈
8	シザーZ	鹿毛	2005年6月	10	セン	オランダ	168cm	Zangersheide	2014.9.11 競馬学校より 受贈
9	マイネルネオス	鹿毛	2003年3月	12	セン	新冠町	160cm	サラブレッド	2014.11.6 サラブレッドク ラブラ・フィアン より受贈
10	ヌアージュ・ デ・ポリ	鹿毛	2001年9月	14	セン	フランス	167cm	セルフランセ	2014.12.19 馬事公苑より 受贈
11	シンザンパーク	鹿毛	1994年3月	20	セン	三戸郡	154cm	アングロアラブ	2015.3.11 退厩
12	マロン	栗毛	1993年6月	22	牝	和歌山	72cm	アメリカン ミニチュアホース	2015.10.27 死亡

(2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるととも

に、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬及び馬車の試乗会

毎月第1日曜日と第3日曜日（1月～3月は第3日曜日のみ実施）に、当日の馬の博物館入館者を対象とした体験乗馬及び馬車の試乗会を開催し、また、これまで実施していた「サクラウィーク」「夏休み」馬事イベントを一層充実させるとともに、平成27年度より新たに「シルバーウィーク」にも馬事イベントを実施しました。さらに、そのほかの祝日においても、ミニ乗馬デー（体験乗馬のみ）や少年団の騎乗供覧等を開催しました。（祝日対応16日※元旦のみ実施せず）

② にんじんタイム

平成27年度から従来の毎週土曜日に加え、新たに祝日においても、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬に触れることのできる機会を提供しました。（祝日対応9日）

③ 体験学習講座

春季休暇中、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う『春休み一日愛馬教室』を開催しました。（4月1日～3日）

④ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、自らにんじんを与え、馬に触れることのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れるとともに展示馬を活用した出張訪問を行いました。

（職業体験学習） 横浜市立根岸中学校(2年)3名 2月4日

（実習生） メルボルン大学(2年)1名 1月21日～25日

2月1日・2月12日～15日

（出張訪問） 横浜市立根岸小学校 11月19日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、外部団体等のイベントへの協力を行いました。

・米海軍根岸フレンドシップデーへの協力

4月18日（主催：米海軍横須賀基地横浜支所）

・米海軍池子フレンドシップデーへの協力

5月23日（主催：米海軍横須賀基地池子支所）

・馬車道まつりにおける馬との親しむイベントへの協力

11月3日（主催：馬車道商店街協同組合）

(3) 春秋特別イベント

春季は、ゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日』を開催し、体験乗馬や馬車の試乗会の他、民俗芸能研究会・馬舞之会による伝統馬事芸能「沖縄の民俗芸能 じゅり馬」の披

露や松本英子さんのミニコンサート、馬のイラストレーターで著名なおがわじゅりさんをお迎えして「おがわじゅりさんのお絵かき教室」・サイン会、近隣の米海軍消防隊・市電保存館や木曽町役場等とのコラボイベント等を行いました。

秋季は、秋晴れの11月1日に『馬とのつどい2015』を開催し、JRA馬事公苑による「ファンタジック・ホースショー」(2頭)の披露に加え、人気のゆるキャラ「ぐんまちゃん」や「ターフィー」による、「ゆるキャラ紹介ショー&記念撮影会」、旭堂南鷹と田辺銀治の「青空講談会」やクラシック・ヨコハマによるミニコンサート、春季同様に近隣や関連団体とのコラボイベント等、内容を充実させて実施しました。

実施日	催物(集客)	内容
5.5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 8,700人・ 対前年比 98.8%)	沖縄の民俗芸能じゅり馬、松本英子さんミニコンサート、おがわじゅりさんのお絵かき教室・サイン会、市電保存館による鉄道模型展示、米軍消防隊による煙体験、蹄鉄造りの実演(協力: JRA競馬学校)、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会(協力: 木曽町役場) 馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会・試乗会、在来馬保護チャリティーイベント 他
11.1	馬とのつどい2015 (来場者 5,700人・ 対前年比 103.6%)	ファンタジック・ホースショー及び蹄鉄造りの実演(協力: JRA馬事公苑)、旭堂南鷹と田辺銀治の「青空講談会」、市電保存館による鉄道模型展示、米軍消防隊による火災安全指導イベント、JR東日本「根岸駅」「磯子駅」による駅長体験イベント、今治市・毛呂山町観光キャンペーン、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会(協力: 群馬県ほか)、クラシック・ヨコハマミニコンサート、MINTON HOUSEプレゼントのジャズライブ、「UMARTs 2015」ギャラリートーク、第152回天皇賞(秋)予想クイズ 馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会・試乗会、在来馬保護チャリティーイベント 他

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理並びにお客様への快適な展示環境の提供に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、

馬事伝統行事を行う 44 団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬の保存活動を行う団体に対し、公益財団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、平成 27 年度においては Gate J. 出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来馬保護チャリティーイベント」を 12 回実施し、同チャリティーイベント以外の寄贈を含め合計 3,284,973 円の募金のご協力をいただきました。また、これまでに寄贈いただいた在来馬保護チャリティー募金等のうち 1,296,000 円については、公益社団法人日本馬事協会に寄附し「野間馬ハイランド（今治市）」における超音波画像診断装置（エコー）の整備に活用されました。

4 施設の管理運営及び公苑の整備

時計や案内看板の新設、草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に行い公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館日数	入館者数					開苑日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	25日	715	288	210	1,213	49	25日	17,251	690
2月	20日	803	206	40	1,049	52	24日	18,789	783
3月	28日	1,552	521	117	2,190	78	28日	32,790	1,171
4月	22日	1,475	393	150	2,018	92	26日	31,540	1,213
5月	28日	3,527	1,655	707	5,889	210	28日	36,570	1,306
6月	21日	715	239	416	1,370	65	25日	17,730	709
7月	28日	696	282	19	997	36	28日	12,146	434
8月	20日	645	386	142	1,173	59	26日	11,610	447
9月	27日	1,425	486	285	2,196	81	27日	22,194	822
10月	24日	1,429	394	1,127	2,950	123	28日	32,080	1,146
11月	26日	2,785	849	788	4,422	170	26日	33,300	1,281
12月	18日	892	247	128	1,267	70	24日	18,145	756
27年計	287日	16,659	5,946	4,129	26,734	93	315日	284,145	902
26年計	282日	14,840	5,625	3,563	24,028	85	311日	221,490	712
前年比 (%)	101.8	112.3	105.7	115.9	111.3	109.4	101.3	128.3	126.7

*1日最高入館者数 3,169人 5月5日

*1日最高入苑者数（概数） 8,700人 5月5日

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
383	500	352	1,687	3	381	0	865	41

II JRA 競馬博物館の事業

1 展示及び調査・研究

春季には、特別展『名手と優駿たち ～騎手と馬の絆～』をギャラリーにて開催しました。同展では、騎手部門で顕彰者に選出されている7名について、騎手時代の成績を振り返るとともに、お手馬として手綱を握った名馬たちを紹介しました。

また、併せて特別展『伝説の騎手・前田長吉の生涯』を特別展示室で開催しました。同展では、戦前にクリフジ号の手綱を取り史上最年少のダービージョッキーになるなどの活躍をしながら、戦争により短い生涯を閉じた前田長吉騎手について、生家に残された遺品を展示するとともに、その生涯と騎手としての活躍を紹介しました。

秋季には、特別展『創設 60 回有馬記念展』をギャラリーにて開催しました。昭和 31 年に創設された師走のグランプリレース「第 1 回グランプリ」が平成 27 年で 60 回の節目を迎えることを記念し、関連資料とともにレースの歴史、過去の優勝馬及び優勝騎手と所縁の品々、各回競走成績並びに数々の名勝負のレース映像等を紹介しました。

また、併せて騎手・調教師として同競走を通算 4 勝した野平祐二氏を称え、特別展『“ミスター競馬”野平祐二展』を特別展示室で開催しました。野平氏の騎手・調教師時代の紹介から、野平氏が競馬記者のみならず数多くの作家や文化人を自宅に招き競馬文化論や日本競馬の将来などについて語り合った「野平サロン」について紹介しました。展示会場では野平氏の盟友であった大橋巨泉氏に、生前の野平氏や「野平サロン」等について語っていただいた、貴重なビデオも放映しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 10. 1～ H27. 1. 25	英国ダービー展
2	1. 31～4. 19	エルコンドルパサーの蹄跡 ～凱旋門賞に挑んだ優駿たち～
3	4. 25～10. 4	春季特別展 名手と優駿たち ～騎手と馬の絆～
4	10. 10～H28. 1. 24	秋季特別展 創設 60 回 有馬記念展

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 11. 8～ H27. 2. 5	馬と競馬のあそび道具展
2	2. 7～3. 29	2014 年度 JRA 賞展
3	4. 1～6. 28	馬と伝統行事 ～日本各地の馬の祭り～ (前期)

4	7.11～9.27	馬と伝統行事 ～日本各地の馬の祭り～（後期）
5	9.30～H28.2.7	馬の意匠展 ～日本の馬文化の広がり～

(3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	H26.10.1～ H27.1.25	英国ダービー展
2	4.25～6.28	特別展 伝説の騎手・前田長吉の生涯
3	7.11～8.30	伯樂会展
4	10.10～11.1	馬の祭り写真コンテスト入賞作品展
5	11.7～11.29	第60回有馬記念メモリアル企画展 “ミスター競馬”野平祐二展
6	12.5～H28.1.24	秋季特別展 創設60回 有馬記念展

(4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H26.12.13～ H27.2.5	第34回ジャパンカップ優勝馬展
2	2.14～4.19	2015年度新人騎手紹介展
3	6.13～7.26	第82回東京優駿（日本ダービー）優勝馬展
4	10.24～11.29	祝オルフェーヴル号 殿堂入り記念展
5	12.12～H28.2.7	第35回ジャパンカップ優勝馬展

(5) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	H26.12.6～ H27.1.25	伝説の圧勝劇 ～記憶に残る主役たち～	阪神競馬場アメニティ ホール
2	H26.11.8～ H27.1.25	2013年秋&2014年春のGI プレイバック展	東京競馬場フジビュー スタンド3F (ウエストホール両脇)
3	1.31～5.10	2014年春&秋のGIプレイバ ック展	
4	5.16～11.1	2014年秋のGIプレイバック展	
5	11.7～ H28.1.24	2014年秋&2015年春のGI プレイバック展	中山競馬場競馬ギャラ リー
6	12.5～ H28.1.24	野平祐二と有馬記念展	
7	12.12～ H28.1.24	名手と優駿たち ～騎手と馬の絆～ 伝説の騎手・前田長吉の生涯	阪神競馬場アメニティ ホール

(6) 常設展示機器等

展示パネルや常設展示機器「サラブレッドサイアーライン」、「サラブレッドモニタージュ」に第82回日本ダービー優勝馬ドゥラメンテ号の情報を

追加更新しました。

常設展示機器「重賞競走ビデオ BOX」には、平成 27 年度分の重賞競走映像を追加しました。

また「ターフィーシアター」において「日本ダービーレース映像集」の上映を行いました。

(7) 「映像ホール」及び新設「馬の学び舎ミュージアム・ホール」

1 月から 6 月までは映像ホールを運営し、過去の全周映像作品の中から、8 作目「The Season～女王陛下と馬たちの祝祭」(1 月 4 日～25 日) 及び 12 作目「チャッピーとエミの大冒険 ～サラブレッドの始祖を求めて」(1 月 28 日～6 月 28 日) を上映しました。

映像ホールは 6 月 29 日から 10 月 9 日まで改修工事のため閉鎖し、10 月 10 日に「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」としてリニューアルオープンしました。「馬の学び舎」は展示・映像・常設展示の各コーナーで構成しており、展示コーナーでは博物資料の展示と解説パネルの設置、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置で平成 27 年度に制作した“馬の祭”と“在来馬”にまつわる映像作品 (22 本) を順次上映、常設展示コーナーでは等身大の馬像 (ばん馬・サラブレッド・日本在来馬) を設置しました。また、特定日においては、ステージを設置してイベントを行うなど多目的に活用しました。

〈馬の学び舎 馬事文化紹介映像上映一覧〉

	上映期間	タイトル (全て 2015 年作品)
1	10. 10～12. 27	大國魂神社 くらやみ祭 チャグチャグ馬コ 幻の琉球競馬 (前編) (後編)
2	10. 11～12. 27	相馬野馬追 御霊会風流 馬入れ神事
3	10. 18～12. 27	加賀美流騎馬打毬 どさんこ 北海道和種馬
4	10. 25～12. 27	藤森祭 駄馬神事 野間馬
5	11. 1～12. 27	上賀茂神社 賀茂競馬 宮古馬・与那国馬

新ホールの認知度向上・来場促進及び多目的機能の積極的な活用を目的として、4・5 回東京競馬全開催日において幅広い来館者層に訴求するリニューアルオープンイベントを実施しました。トークショーとして「盟友大橋巨泉が語る野平祐二」、元実況アナウンサーをゲストに招いた「競馬初ヒストリア&競馬レジェンズトーク」「ブリーダーズトーク 強い馬づくりにかける思い」、グリーンチャンネルの公開収録「草野仁の Gate J. + (プラス)」(ゲスト浅田次郎氏) を実施するとともに、ワークショップやガイドツアー等を行いました。(別添資料 I)

(8) その他展示

フランスの写真家パトリック・ブランシェ氏がアジア各国の馬をテーマに撮影した写真を展示した「パトリック・ブランシェ写真展～Horses and traditions in Asia～」を2階ロビーにて行いました。(8月8日～9月27日)

また、東京大学総合研究博物館所蔵の「ばん馬標本」の貸出を受け、エントランスホールにて展示を行いました。(10月2日～11月12日)

(9) 競馬博物資料等の調査・研究

特別展『名手と優駿たち～騎手と馬の絆～』、『伝説の騎手・前田長吉の生涯』、『創設60回 有馬記念展』、『“ミスター競馬”野平祐二展』等の開催のためJRA図書室、馬の博物館において調査を行うとともに、次年度特別展『根岸競馬場開設150周年記念 ハイカラケイバを、初めて候』開催準備のため、上記施設に加え国立国会図書館、横浜開港資料館、横浜市立中央図書館において調査を行いました。

(10) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ジェンティルドンナ号着用蹄鉄〔第32・33回J C優勝時着用〕8点
2	2014年香港国際競走関連資料 3点
3	上泉華陽作「絵画」 3点
4	JRA60周年記念関係資料 24件
5	東京競馬場開設80周年記念 2013G I優勝馬オリジナルピンバッジセット 1件
6	2013年度J R A賞オリジナルピンバッジセット 1件
7	2015年度ドバイワールドカップ関連資料 4件
8	トニー・マッコイ騎手引退関係資料 10件
9	ドゥラメンテ号馬主服(第82回日本ダービー優勝時着用) 1点
10	ミルコ・デムーロ騎手鞭(第82回日本ダービー優勝時使用) 1点
11	ドゥラメンテ号蹄鉄(第82回日本ダービー優勝時着用) 4点
12	2015年米三冠馬アメリカンファラオ号関係資料 6点
13	2015年プリンスオブウェールズS関係資料 4件
14	ショウナンパンドラ号馬主服(第35回ジャパンカップ優勝時着用) 1点
15	池添謙一騎手鞭(第35回ジャパンカップ優勝時使用) 1点
16	明治40年根岸春季競馬・帝室御賞典競走優勝記念写真「メルボルンⅡ世号と神馬惣策騎手」 1点
17	野平祐二元騎手・調教師関係資料〔馬像・絵画・賞状等〕 112件
18	2015年香港国際競走関係資料 2点

また、JRA図書室が所蔵していた競馬関係図書資料(1,270冊)の寄贈を受けました。

② 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名
1	ディーパインパクト陶磁製馬像（リヤドロ）
2	ストレイトディール（1943年英ダービー優勝馬）着色写真
3	クレペロ（1957年英ダービー優勝馬）着色写真
4	ハードリドン（1958年英ダービー優勝馬）着色写真
5	セントパディ（1960年英ダービー優勝馬）着色写真
6	シディアム（1961年英ダービー優勝馬）着色写真
7	レルコ（1963年英ダービー優勝馬）着色写真
8	サンタクロース（1964年英ダービー優勝馬）着色写真

(11) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	ナリタブライアン号蹄鉄 他9点	JRA東京競馬場 イーストホール（電通）	4.24～5.31
2	『日本近代競馬展』展示パ ネル 75点	浦河馬事資料館	7.17～9.30
3	久保田政子作「トウショウ ボーイ」他2点	デーリー東北	10.9～ 10.28
4	天皇賞御紋付楯（複製）他 5点	サテライトブース@汐留 （日テレイベント）	10.23～ 11.6
5	第1回JCパンフレット 他11件	〃	11.23～ 12.3
6	大正15年福島秋季競馬番 組 他6点	JRA福島競馬場	10.31～ H28.4.24
7	第60回有馬記念展示パネ ル 6点	三井アウトレットパーク 幕張	11.28 ～11.29
8	第60回有馬記念展展示パ ネル 12点	大手町サンケイビル メトロスクエア	12.17 ～12.18

(12) 資料の管理・保存

- ① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しまし
た。

(13) ワークショップ等普及イベント

工作を通じた馬に対する関心度の向上、実際の馬と触れ合うことを通じた馬に対する愛情の深化等を目的として、「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」リニューアルオープンイベントのほか、各種イベントを開催しました。

① 「春休み」特別企画

ご家族向けの企画として下表のイベントを開催しました。

	イベント名	内容	実施日
1	ペーパークラフトを作ろう	競走馬の紙模型を製作	3.28

2	ミニチュアホースを描いてみよう	馬の博物館繋養馬マロンのお絵描きとふれあい	3.29
3	オリジナルキーホルダーをつくろう	プラ板に馬やターフィーのイラストを描き製作	4.4

② 「特別展「伝説の騎手・前田長吉の生涯」記念スペシャルトーク」

特別展の開催に合わせ、前田長吉氏の親族である前田貞直氏と馬事文化賞作家の島田明宏氏によるトークショーを開催しました（5月31日）

③ 「夏休み&シルバーウィーク」特別企画

ご家族向けのワークショップとして下表のイベントを開催しました。

	イベント名	内容	実施日
1	競走馬のペーパークラフトを作ろう	競走馬の紙模型を製作	7.26
2	オリジナルキーホルダーを作ろう	プラ板に馬やターフィーのイラストを描き製作	8.9 9.20
3	馬のペーパークラフトを作ろう	馬の博物館繋養馬の紙模型を製作	8.23

2 案内業務及び入館者

総合案内所をはじめ館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考					
1月	18日	4,243	236	開催日	1日	ハークウインズ	9日	平日	8日
2月	16日	8,824	552	開催日	7日	ハークウインズ	1日	平日	8日
3月	21日	5,390	257	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	12日
4月	22日	7,623	347	開催日	2日	ハークウインズ	6日	平日	14日
5月	23日	23,945	1,041	開催日	10日	ハークウインズ	0日	平日	13日
6月	20日	9,211	461	開催日	8日	ハークウインズ	0日	平日	12日
7月	15日	3,392	226	開催日	0日	ハークウインズ	6日	平日	9日
8月	22日	3,632	165	開催日	0日	ハークウインズ	10日	平日	12日
9月	21日	4,087	195	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	12日
10月	23日	10,995	478	開催日	8日	ハークウインズ	2日	平日	13日
11月	21日	12,240	583	開催日	10日	ハークウインズ	0日	平日	11日
12月	16日	4,455	278	開催日	0日	ハークウインズ	8日	平日	8日
27年計	238日	98,037	412	開催日	46日	ハークウインズ	60日	平日	132日
26年計	232日	104,454	450	開催日	46日	ハークウインズ	58日	平日	128日
前年比(%)	102.6	93.9	91.6						

※7月1日～10日 館内整備のため臨時休館

※6月29日～10月9日 映像ホールリニューアル工事のため映像ホール閉鎖

*1日最高入館者数

開催日 5,654人 5月31日（日本ダービー競走当日）

場外発売日 1,432人 12月27日（有馬記念競走当日）

祝・平日（非開催日） 648人 5月6日（ゴールデンウィーク最終日）
 ＊1日平均入館者数／総入館者数
 開催日 1,294人／59,506人
 場外発売日 345人／20,713人
 祝・平日（非開催日） 135人／17,818人

＊教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
822	328	413	132	32	234	173	1,897	868

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）の事業

1 Gate J. 新橋の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 12. 17 ～H27. 2. 16	「JRA60年史」パート6
2	2. 18～5. 11	「英国ダービー展」パート1
3	5. 13～8. 24	「英国ダービー展」パート2
4	8. 26～10. 26	「ライバルの記憶」パート1
5	10. 28～H28. 1月	「ライバルの記憶」パート2

② Gate J. 内スタジオにおける、中央競馬のGⅠ競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネルの放送番組「草野仁の Gate J. +（プラス）」の公開収録に加え、イイノホールにて「天皇賞（秋）フェスティバル」を開催しました。また、主要競馬場における出張イベント（トークショー&在来馬保護チャリティーイベント）・ウインズ及びその他施設での出張イベントを計48回実施しました。

③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設や展示案内等の紹介を行いました。

2 Gate J. 梅田の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H26. 12. 20 ～H27. 3. 10	「JRA60年史」パート5
2	3. 14～6. 2	「JRA60年史」パート6
3	6. 6～7. 14	「英国ダービー展」パート1
4	7. 18～8. 25	「優駿」企画「未来に語り継ぎたい名馬ベスト100」
5	8. 26～11. 10	「英国ダービー展」パート2

6	11.14～H28.1月	「ライバルの記憶」パート1
---	--------------	---------------

- ② Gate J. 内において中央競馬のG I 競走等のレース検討会等のトークショーに加え、主要競馬場における出張イベント（トークショー&在来馬保護チャリティーイベント）及びウインズでの出張イベント等を計9回実施しました。
- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組等を放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を行いました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	10,978	457	16日	22,149	1,384
2月	23日	10,660	463	16日	21,153	1,322
3月	26日	11,928	459	19日	22,988	1,210
4月	25日	11,994	480	17日	24,308	1,430
5月	25日	14,676	587	18日	26,923	1,496
6月	25日	12,069	483	18日	24,655	1,370
7月	26日	11,775	453	15日	16,798	1,120
8月	27日	11,715	434	19日	20,932	1,102
9月	24日	10,264	428	16日	15,736	984
10月	27日	12,516	464	19日	24,592	1,294
11月	26日	12,564	483	18日	26,438	1,469
12月	23日	13,322	579	17日	29,508	1,736
27年計	301日	144,461	480	208日	276,180	1,328
26年計	305日	149,186	489	209日	282,691	1,353
前年比(%)	98.7	96.8	98.2	99.5	97.7	98.2

*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 1,280人 5月28日（日本ダービー前週）

Gate J. 梅田 3,747人 12月27日（有馬記念競走当日）

4 パブリックビューイングの開催

ドバイのメイダン競馬場で行われたドバイワールドカップデー諸競走にホッコータルマエ号他、日本馬が出走するのを受けて、3月28日に新宿バルト9及び梅田ブルク7において「映画館でみんなで応援！2015ドバイワールドカップデーパブリックビューイング」を開催しました。

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業フィルムを、JRA 競馬場のターフビジョンやITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映し

ました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。

- ② 地元メディアに対して適時、情報提供を積極的に行うとともに、テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ③ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新するとともに施設紹介等の動画配信を行うなど情報提供及び馬文化の普及を図りました。また、馬の博物館公式フェイスブックを新設し適時に情報を発信しました。
- ④ 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等をイベント等の開催時に効果的に配布することにより、広報活動の一助としました。

2 JRA 競馬博物館

- ① JRA 競馬博物館の商業フィルムに加え「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」の紹介商業フィルムを新たに制作し、JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 発行印刷物に展示案内を掲出するとともに、マスコミと連携してチラシ等を制作し配布しました。
- ② 東京競馬場内のインフォメーション及び各入場門においてイベントパンフレットを常置することにより、イベント告知と来館促進を図りました。
- ③ 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に利用し、来場者等への広報活動を展開しました。
- ④ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑤ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ⑥ 旅行者に展示情報を随時通知し来館誘致に努めました。
- ⑦ オリジナルカレンダーを制作し、クイズラリー・アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。
- ⑧ 平成 27 年度に制作した馬事文化紹介映像のうち計 10 作品について、BS ジャパンで放映しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等を Gate J. や競馬場等におけるイベント等の開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに Gate J. イベント等の動画配信を行うなど情報提供等の充実を図りました。
- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルム及び特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況

1 受入れ状況

平成 27 年度においては、総額 3,299,973 円の寄附金を受入れました。内訳は、在来馬保護事業は、3,284,973 円、博物館事業は 15,000 円でした。(別添資料Ⅱ)

2 使用状況

平成 27 年度においては、次のとおり寄附金を使用しました。

在来馬保護事業については、平成 26 年度までに受け入れた寄附金 1,430,052 円のうち 1,296,000 円を公益社団法人日本馬事協会に寄附しました。この結果、平成 27 年度末の未使用寄附金残高は 3,419,025 円となりました。

博物館事業については、平成 26 年度末までに受け入れた寄附金 1,820,000 円と平成 27 年度に受け入れた寄附金 15,000 円を合わせた 1,835,000 円を全額馬事博物資料の購入に使用しました。

VII 庶務

1 評議員に関する事項 (平成 27 年 12 月 31 日現在)

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
小笠原信夫	H25. 1. 4	
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
宮本 恭一	H26. 9. 4	
中村 嘉宏	H27. 3. 1	
福井 紳弥	H26. 12. 1	H27. 2. 28

2 役員等に関する事項 (平成 27 年 12 月 31 日現在)

(1) 役員

役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	畑山 光伸	H24. 3. 1		
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16		

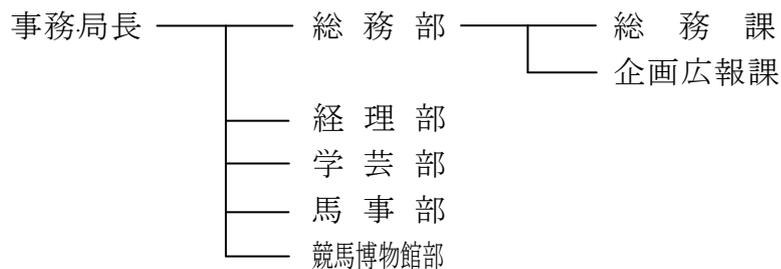
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		
理事	小川 欽司	H15. 10. 1		非常勤
理事	山崎 郁夫	H15. 10. 1		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	福島 輝也	H26. 2. 27		非常勤

(2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
富岡 義雄	H26. 3. 1		非常勤

(3) 職員及び組織図

職員 21 名、嘱託 1 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	決議の省略 2. 28	①当財団評議員として中村嘉宏様を選任することについて	7名	7名	全員賛成
2	3. 5	①平成 26 年度事業報告書について	7名	6名	全員賛成
		②平成 26 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について	7名	6名	全員賛成
		③定款の一部改正について	7名	6名	全員賛成
		④役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について (報告事項)	7名	6名	全員賛成
		①在来馬保護チャリティー募金の寄付の取扱いについて			
3	12. 3	①平成 28 年度事業計画書について	7名	7名	全員賛成
		②平成 28 年度収支予算書について	7名	7名	全員賛成
		③役員の報酬等の総額の設定について (報告事項)	7名	7名	全員賛成
		①会計事務細則の一部改正について			
		②マイナンバー制度に関するお願いについて			

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.18	①平成 26 年度事業報告書について	5 名	5 名	全員賛成
		②平成 26 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について	5 名	5 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	5 名	5 名	全員賛成
		④役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5 名	5 名	全員賛成
		⑤第 1 回評議員会の開催について(報告事項)	5 名	5 名	全員賛成
		①理事長及び専務理事による業務の執行状況について			
		②在来馬保護チャリティー募金の寄付の取扱いについて			
2	決議の省略 2.21	①当財団評議員として中村嘉宏様を選任するよう各評議員に提案することについて	5 名	5 名	全員賛成
3	11.25	①平成 28 年度事業計画書について	5 名	4 名	全員賛成
		②平成 28 年度収支予算書について	5 名	4 名	全員賛成
		③職員給与規程の一部改正について	5 名	4 名	全員賛成
		④役員の報酬等の総額の設定について	5 名	4 名	全員賛成
		⑤第 3 回評議員会の開催について(報告事項)	5 名	4 名	全員賛成
		①理事長及び専務理事による業務の執行状況について			
		②一般会計予算の科目間流用について			
③会計事務細則の一部改正について					
④マイナンバー制度に関するお願いについて					
4	決議の省略 12.27	①平成 28 年度収支予算書(内部管理事項)の予算総則の一部変更について	5 名	5 名	全員賛成

別添資料 I 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」リニューアルオープンイベント一覧

	イベント名	内容	実施日
1	オープニングイベント	オリジナル記念グッズをプレゼント	10.10 10.11
2	馬像試乗会	新たに設置した等身大の馬像に試乗	10.10 10.11
3	「草野仁の Gate J. + (プラス)」公開収録	グリーンチャンネル制作番組、ゲスト浅田次郎氏 (作家)	10.12
4	博物館ガイドツアー	「馬の学び舎」の展示資料を財団学芸員が解説	10.17 11.14 11.29
5	馬のペーパークラフトを作ろう	馬の博物館繋養馬の紙模型を制作	10.18
6	キッズイベント お馬さんのこと、もっと知ろう!	中型映像装置を活用し馬に関して写真や絵により子供向けに分かりやすく説明	10.24 11.21
7	馬学講座	中型映像装置を活用し日本在来馬に関する基礎知識を財団学芸員が説明	10.25
8	馬の焼き物に絵付けしよう	素焼きの馬に絵付けを制作	10.31
9	競馬初ヒストリア&天皇賞(秋)レース展望トークショー	東京競馬場での競馬エピソードの説明と天皇賞(秋)の展望、石田敏徳氏(JRA賞馬事文化賞受賞作家)他が出演 (夕刊フジとのコラボイベント)	11.1
10	お馬さんとお絵描き&ふれあいイベント	馬の博物館繋養馬ホワイトミニーのお絵描きとふれあい	11.7
11	盟友大橋巨泉が語る野平祐二	「“ミスター競馬”野平祐二展」を記念し野平氏に所縁のある岡部幸雄氏(元騎手)、芹澤邦雄氏(元週刊ギャロップ編集長)、大橋巨泉氏(テレビタレント・文筆家)が出演(※大橋氏は急病のため収録済みビデオ出演)	11.8
12	演歌&日本民謡ミニコンサート	東京競馬場との連携イベントとして、歌手黒木姉妹が出演	11.15

13	競馬初ヒストリア&競馬レジェンズトーク	競馬実況にまつわる思い出や知られざるエピソードを披露長岡一也氏(元ラジオたんぱ)、白川次郎氏(元ラジオ NIKKEI)、石田敏徳氏(作家) 他が出演(夕刊フジとのコラボイベント)	11.22
14	ブリーダーズトーク 強い馬づくりにかける思い	日本の生産界を代表する吉田照哉氏(社台ファーム代表)、吉田勝己氏(ノーザンファーム代表)、岡田繁幸氏(ビッグレッドファームグループ代表)が出演し、配合、種牡馬導入及び育成についての考え方や日本競馬について等の思いを披露)	11.23
15	蹄鉄コースターを作ろう	使用済み蹄鉄にコルクシートを貼り付けて制作	11.28

別添資料Ⅱ 寄附金・募金の受入れ状況

1 在来馬保護チャリティーイベント

実施日	実施場所	内容〔派遣馬〕	募金額(円)
4.11～12	阪神 RC 桜花賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	241,660
5.5	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	馬とあそぼうこどもの日 ミカン・ゆき	23,022
6.6～7	東京 RC 安田記念施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	411,439
7.11	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	夏休み企画① ミカン・ゆき	6,936
7.20	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	夏休み企画② ミカン・ゆき	9,407
8.8～9	新潟 RC レパード S 施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	148,920
9.22	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	シルバーウィーク企画 ミカン・ゆき	15,275
10.3～4	中山 RC スプリンターズ S 施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	254,192
10.24～25	京都 RC 菊花賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	241,346
11.1	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	馬とのつどい 2015 ゆき・ホワイトミニ	8,990
11.3	馬車道 馬車道まつり	Gate J.出張 (W 横浜) ゆき・ホワイトミニ	68,041
11.7～8	東京 RC アルゼンチン共和国杯施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	208,960
合計			1,638,188

2 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

10月 754円、11月 5,167円、12月 864円、合計 **6,785円**

3 個人による寄附金

(1) 在来馬保護事業

受入日	寄附金額(円)
4.4	30,000
4.8	1,600,000
11.18	5,000
12.27	5,000
合計	1,640,000

(2) 博物館事業

受入日	寄附金額(円)
5.28	5,000
11.18	10,000
合計	15,000